

計画の構成と期間について

第2次南丹市総合振興計画は、「基本構想」と「実施計画」の2層による構成とした。

「基本構想」

南丹市の目指すべき将来の方向性を明確に示し、市民や事業者の皆さんと共有するとともに具体的な成果目標を掲げ、達成のための施策などの方針を定めています。計画期間は平成30年度から10年間で、5年を目途に見直しできるものとしています。

「実施計画」

基本構想に定めた施策の方針を財政的な裏付けをもって実施していくため、具体的な事業を示します。3カ年の計画をローリング方式(※)により毎年度策定します。

※施策や事業の見直しや部分的な修正を、定期的に実施する方法

計画の期間



計画の特徴

市民の声を生かした市民にわかりやすい計画

計画の策定過程において、市民意識調査や市民団体などへのヒアリング、市民ワークショップ、パブリックコメントなどの機会を通じて、広く市民の皆さんの意見を取り入れました。

また、まちづくりを進めるための考え方や基本方針を、市民目線で、簡潔で分かりやすく示しています。

社会経済情勢の変化に的確に対応する計画

人口減少や少子高齢化、地方創生の取り組みなど、社会の動きが南丹市にもたらす影響を的確に把握し、これらに適切かつ柔軟に対応する計画としています。

個別計画との連携を強化し実効性を高めた計画

分野ごとの施策を定めた個別計画との連携を強化するとともに、施策ごとに成果指標を掲げることによって進捗管理を明確にし、実効性を高めたものとしています。